KENWOOD

NX-230EX
NX-330EX

VHF/ UHFデジタル携帯無線電話装置

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございました。
本機は本質安全防爆構造の無線機です。
本機は、爆発の恐れのある危険な場所で使用するために本質安全防爆に適合するよう専用設計されています。
爆発事故を未然に防ぐ仕組みを有する機器ですが、取り扱いについては十分注意し、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
この取扱説明書は、お読みになった後は、いつでも見られる場所に保管してください。

本質安全防爆

株式会社 JVCケンウッド
B5A-3242-20 (J)

本機は本質安全防爆構造となっていますが、誤った取り扱いをおこなうことで事故が発生する可能性が生じます。この取扱説明書の記載内容に従ってご使用ください。

本質安全防爆構造とは

本質安全防爆構造とは、電気機械器具を構成する部分について正常時および事故発生時に発生する電気火花または高熱部分により爆発性ガスまたは蒸気に点火する恐れがないことが、公的機関において確認された構造をいいます。

本質安全防爆構造の本機の安全上での取り扱いについては、同梱する「安全マニュアル」をお読みください。

電波法に関するご注意

- 本機は電波法に基づいて、工事設計認証を受けた製品です。本機裏面の工事設計認証ラベルをはがして使用することは、電波法により禁止されています。
- 本機を分解したり、改造して使用することは電波法により禁止されています。
- 他人の通信を聞いてこれを漏らしたり、窃用することは電波法により禁止されています。
- 本機は、工事設計の認証を受けたアンテナのみご使用いただけます。

免許局運用時のご注意

- **運用上の制限**
  通話は免許状に記載された下記事項の範囲内でおこなわなければなりません。
  1. 無線局の目的
  2. 通信の相手方
  3. 通信事項
  また、免許人以外が運用することは原則としてできません。
- **免許の有効期限**
  免許状に記載してある有効期間が過ぎると、無線局の運用はできません。
- **再免許の申請**
  引き続き運用する場合は、有効期間が終了する 6 か月前から 3 か月前までの間に、再免許の申請をしなければなりません。
  再免許の手続きはお買い上げの販売店にご相談ください。
- **免許の申請その他の手続き**
  免許の申請や下記の手続きは、お買い上げの販売店にご相談ください。
  ・再免許の申請
  ・免許状の記載事項に変更が生じる場合
  ・免許状が破れたり、汚れたり、紛失した場合の再交付申請
  ・無線設備を変更する場合
  ・無線局を廃止した場合

ご使用の前に

音声圧縮 (符号化) 方式について
米国 DVSI 社の開発した AMBE (Advanced Multi-Band Excitation) 方式を採用し、本機は AMBE+2™ に対応しています。
The AMBE+2™ voice coding Technology embodied in this product is protected by intellectual property rights including patent rights, copyrights and trade secrets of Digital Voice Systems, Inc. This voice coding Technology is licensed solely for use within this Communications Equipment. The user of this Technology is explicitly prohibited from attempting to extract, remove, decompile, reverse engineer, or disassemble the Object Code, or in any other way convert the Object Code into a human-readable form. U.S. Patent Nos. #8,315,860, #8,595,002, #6,912,495, #8,200,497, #7,970,606, and #8,359,197.

防じん / 防水性能について

本機は設計段階において該当する防じん / 防水性能を確認しておりますが、実際の使用においては下記の条件や注意事項をお守りください。

- 防水保護 IP65/IP67 相当の防じん / 防水性能を備えていますが、実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。お客様の取り扱いの不備による故障と認められたときは、保証の対象外となりますのでご了承ください。
- 本機の防水性能は真水環境でのみ性能を保証しております。塩水がかかる環境でのご使用は 無線機の腐食の原因になり、防水性能の保証はできません。
- 石鹸水、洗剤、調味料、ジュース、海水、油など水道水以外のものをかけたり、浸けたりしないでください。また、高温のお湯に浸けたり、かけたりしないでください。
- 本機の汚れを落とす際は、水に浸したり、蛇口からの水や湯を直接当てたりしないでください。
- 本機が濡れているときは防水のためのキャップを開けないでください。
- 別売品の外部機器を接続するときはコネクターを確実に固定してください。
- オプション製品自体の防じん / 防水性能は各製品により異なります。
- 充電器や AC アダプターは防じん / 防水仕様ではありません。本機が濡れている状態では使用しないでください。
- 本機に衝撃を与えた場合は、防じん / 防水性能に影響を与える場合があります。

安全上のご注意

以下の安全に関する事項については業務用無線機に対する一般的な取り扱いに準拠する内容を記載しています。

絵表示について

この「安全上のご注意」には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。ご使用の際には、下記の内容 (表示と意味) をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

⚠ 危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

	禁止 (してはいけないこと) を示す記号です。
	分解してはいけないことを示す記号です。
	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
	指示に基づく行為の強制 (必ず実行していただくこと) を示す記号です。
	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、弊社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

⚠危険

使用環境・条件

- 引火、爆発の恐れがありますので、プロパンガス、ガソリンなどの可燃性ガスの発生するような場所ではバッテリーパックの充電はしないでください。
- 運転しながら本機を操作 (通信) するのはおやめください。安全な場所へ車を停車させてから操作 (通信) してください。

バッテリーパックの取り扱いについて

バッテリーパックは下記のことをお守りいただけない場合、怪我やバッテリーパックを破損させる原因となります。

- バッテリーパックを電磁調理器の上に置いたり、電子レンジや高圧容器に入れないでください。
- 充電温度範囲は、5℃～ 40℃です。この温度範囲以外では充電しないでください。
- 指定以外の充電器では充電しないでください。
- 本機以外の機器に取り付けないでください。
- 濡れた本機とバッテリーパックを充電しないでください。
  故障の原因となります。
- 端子を針金などの金属類でショートさせないでください。また、ネックレスやヘアピンなどの金属物と一緒に持ち運んだり、保管しないでください。
- 液が目に入ったときは、失明の恐れがありますので、こすらずに、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。
- 液が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に障害を起こす恐れがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。

⚠警告

使用環境・条件

- 電子機器 (特に医療機器) の近くでは使用しないでください。電波障害により機器の故障・誤動作の原因となります。
- 空港施設、鉄道施設、港湾、病院などの管理区域に指定されている場所での本機の使用については、各施設管理者にお問い合わせ、ご確認したうえでご使用ください。
- 本機を使用できるのは、日本国内のみです。国外では使用できません。

使用方法について

- オプション機器は指定された製品以外を使用しないでください。
- エアバック装置の近くに本機を置かないでください。エアバック装置が動作したときなど装置が体に当たって怪我をすることがあります。
- 機械に巻き込まれる恐れのある場所では、スピーカーマイクロホンなどのケーブルを首にかけないでください。怪我の原因となります。
- 本機は調整済みです。ケースを開けたり、分解・改造して使用しないでください。
- アンテナやストラップを持って、本機を振り回さないでください。人に当たって怪我を負わせたり、物に当たって装置が破損することがあります。
- 高温になる場所 (火のそば、暖房機のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など) で保管、放置しないでください。故障の原因となります。
- アンテナ端子に触れているときに送信しないでください。高周波やけどの原因となります。

異常時の処置について

- 内部に水や異物が入った場合や、落としたり、ケースを破損した場合、異常な音がしたり、異常と感じた場合は、そのまま使用すると、故障の原因となります。
- 落下などにより破損した部品には直接触らないでください。怪我の原因となります。
- 異常と感じた場合、すぐに電源を切り、バッテリーパックを外し、充電中は電源プラグをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認してから、お買い上げの販売店にご連絡ください。
- 雷が鳴り出したら、安全のため早めに電源を切り、充電中は電源プラグをコンセントから抜いて、ご使用をおひかえください。

⚠注意

使用環境・条件

- テレビやラジオ、パソコンの近くで使用しないでください。電波障害を与えたり、受けたりすることがあります。
- 直射日光が当たる場所や車のヒーターの吹き出し口など、異常に温度が高くなる場所には置かないでください。内部の温度が上がり、ケースや部品が変形したり、変色の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いたところ、振動の多い場所には置かないでください。落ちたり、倒れたりして怪我の原因となることがあります。
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所には置かないでください。故障の原因となることがあります。
- 結露した場合は、自然乾燥させるか、長い時間同じ環境に置くなどして、結露がなくなってからご使用ください。
- 本機や付属品は幼児の手の届かないところに保管してください。

使用方法について

- アンテナを誤って目にささないようにご注意ください。
- 長期間使わないときは、電源を切り、バッテリーパックを外してください。
- お手入れの際は、安全のため電源を切り、バッテリーパックを外してください。
- スピーカーマイクロホンなどを本機に接続している場合は、送受信音量を下げてください。スケルチを解除するときの音量に注意してください。
- 充電端子などに水滴が付いたら、安全のため乾いた布でふき取ってください。汚れのひどいときは、水で薄めた中性洗剤をご使用ください。シンナーやベンジン、アルコールは使用しないでください。

◆ 充電器など別売品の外部機器使用時の注意については使用する機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

ご使用の前に (つづき)

説明上の注釈表記について

このマークが付いた注釈は、使用上の注意事項が記載されています。

このマークが付いた注釈は、使用上の補足事項が記載されています。

ご使用上のご注意

- 施設の管理等により、無線機器の使用が禁止されているところでは、本機を使用しないでください。
- テレビ、ラジオ、パソコンなどの電子機器の近くで使用すると、電波妨害が発生することがあります。これらの機器からは離れてお使いください。
- 本機を複数で使用する場合、近距離 (約 10 m 以内) で同時に通信しないでください。異なるチャンネル同士であっても、電波妨害が発生することがあります。
- 通話のできる距離は地形や環境 (天候や建物などの障害物) によって短くなることがあります。そのようなときは、少し場所を移動して運用してください。

本機の付属品

ベルトクリップ (KBH-16EX)	1
ベルトクリップ (KBH-16EX) 用ネジ	2
ユニバーサルコネクター キャップ	1
保証書	1
安全マニュアル	1
取扱説明書	1

バッテリーパックについて

本機に使用できるバッテリーパックは下記のとおりです。
・KNB-70LEX ..... リチウムイオンバッテリーパック (1,430 mAh)
・KNB-77LEX ..... リチウムイオンバッテリーパック (2,860 mAh)

バッテリーパックの特性について

- 充放電を繰り返すと、使用できる時間が徐々に短くなります。
- 使用せずに置いておくだけでもわずかながら電池の劣化が進みます。
- 低温での充電時間は、室温時より長くなる場合があります。
- 高温状態で充放電したり、無線機を使用すると寿命が短くなります。また、高温状態での保管も劣化の進行が早まります。車の中に置いたままにしたり、暖房機の上に置いたりしないでください。
- バッテリーパックを高温状態で放置すると使用できなくなります。バッテリーパックが冷えてから使用してください。冷えても使用できない場合は、一度充電してください。
- 長期間保存後は、電池容量が低下していることがあります。必ず充電してからご使用ください。
- 満充電しても使用時間が短くなってきた場合は、バッテリーパックの寿命です。このまま充電/ 放電を繰り返すと、液漏れの原因になることがあります。新しいバッテリーパックをお買い求めください。

バッテリー使用時間の目安
送信出力 1.2 W で、GPS は OFF
送信 5/ 受信 5/ 待受け 90 の比率で連続運用した場合

KNB-70LEX (1,430 mAh)	バッテリーセーブ ON	約 14.5 時間
	バッテリーセーブ OFF	約 11.5 時間
KNB-77LEX (2,860 mAh)	バッテリーセーブ ON	約 29 時間
	バッテリーセーブ OFF	約 23 時間

バッテリー残量警告
バッテリーの容量が減ると、表示部の「▭」が点滅して知らせます。送受信 LED が赤に点滅し警告音が鳴ります。早めにバッテリーパックを充電するか交換してください。

使用済みバッテリーパックの取り扱い注意事項

- プラス端子、マイナス端子をテープ等で絶縁してください。
- 被覆をはがさないでください。
- 分解しないでください。

Li-ion 00 充電式

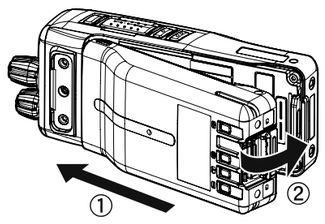
不要になったバッテリーパックは、貴重な資源を守るために廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店か、納入または保守業者へお持ちください。リサイクルにご協力お願いいたします。

バッテリーパックの取り付け/ 取り外し (別売品)

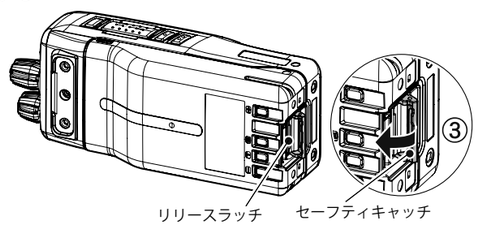
バッテリーパックの取り付け

1 バッテリーパック上側の凸部と本体裏側のみぞを合わせる

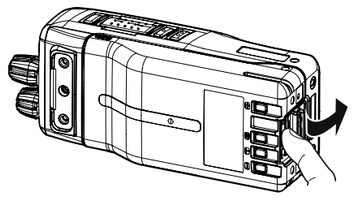
2 バッテリーパックを本体のガイドに合わせ、取り付ける



3 リリースラッチがロックしていることを確認したあと、バッテリーパックの誤取り出しを防止するセーフティキャッチをロックする



バッテリーパックの取り外し
セーフティキャッチを持ち上げ、リリースラッチを押しながら、バッテリーパックを本体から取り外します。

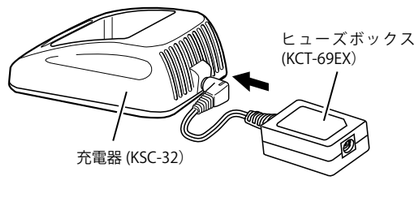


◆ バッテリーパックを取り外す際は、無線機本体やバッテリーパックを落とさないように注意してください。
◆ バッテリーパックの取り付け、取り外しの際は爪や指を傷めないよう十分ご注意ください。
◆ 無線機は、長時間、送信のために使用される場合、シャーシが熱くなります。バッテリーパックを交換するときは、これらの場所には手を触れないでください。

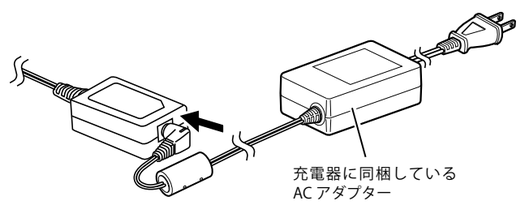
バッテリーパックの充電(別売品)

はじめてお使いになるときや、使用後は必ず充電してください。

1 充電器(KSC-32)のDCIN端子にヒューズボックス(KCT-69EX)のDCプラグを差し込む



2 ヒューズボックスのDC IN端子にACアダプターのDCプラグを差し込む

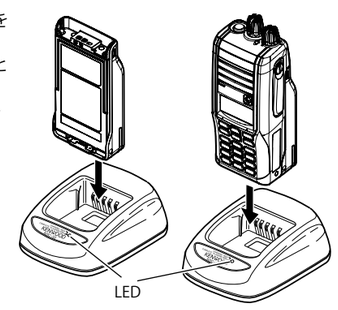


3 ACアダプターのACプラグをコンセントに差し込む

4 無線機またはバッテリーパック単体を充電器に差し込む

◆ 充電するときは、必ず無線機の電源を OFF にしてください。

LED が「赤」に点灯し充電を開始します。
充電時間の目安は下記のとおりです。
- KNB-70LEX : 約 2 時間 10 分
- KNB-77LEX : 約 4 時間



5 LEDが「緑」に点滅して、充電が完了する
無線機またはバッテリーパックを抜き取ります。

LEDでの充電状態の表示について

LED の色	状態
赤点灯	充電中であることを表します。
赤点滅または点灯しない	・バッテリーパックが正しく差し込まれていない場合があります。 再度差し込みなおしてください。 ・充電端子が接触不具合を起こしている場合があります。充電器の端子やバッテリーパックの端子を綿棒や乾いた布で拭いてから再度充電してください。 それでも改善しない場合は、バッテリーパック、または充電器に何らかの不具合があります。直ちに充電を中止して、お買い上げの販売店、または JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
緑点滅	充電が完了したことを表します。
緑と橙が交互に点灯	バッテリーパックの温度が充電温度範囲外になっています。一度バッテリーパックを充電器から抜き、バッテリーパックが常温になってから再度充電器に挿入してください。

◆ 充電時は必ず、ヒューズボックス (KCT-69EX) を充電器 (KSC-32) に接続して充電してください。KCT-69EX の接続は、本機の安全機能を保証するために必須です。
◆ 必ず専用のバッテリーパック、充電器、AC アダプターを使用して充電してください。
◆ バッテリーパックは出荷時には満充電されていません。使用前に必ず満充電にしてください。
◆ 長時間使用しないときは、バッテリーパックを本機から取り外してください。
◆ バッテリーパックの端子を針金などの金属類でショートさせないでください。また、ネックレスやヘアピンなどの金属物と一緒に持ち運んだり、保管しないでください。
◆ 充電器や AC アダプターを布や布団で覆ったりしないでください。熱がこもり、ケースや部品が変形したり、故障の原因となります。風通しの良い状態でご使用ください。

保証とアフターサービスについて

保証書 (別添)
この製品には、保証書を (別途) 添付しております。保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

保証期間
保証期間は、お買い上げの日より **2 年間** です。

修理を依頼されるときは
異常があるときは、製品の電源を切って、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
修理などアフターサービスについては、弊社ウェブサイトをご覧いただくか、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

https://www.kenwood.com/jp/cs/service.html

修理に出された場合、設定された項目がリセットされる場合がありますので、別途お客様ご自身でお控えくださいますようお願いいたします。また、本機の故障、誤動作、不具合などによって通話などの利用の機会を逸したために発生した損害などの付随的損害につきましては、弊社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

保証期間中は・・・
正常な使用状態で故障が生じた場合、保証書の規定に従って修理させていただきます。修理に際しましては、保証書をご提示ください。
本機以外の原因 (衝撃や水分、異物の混入など) による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後は・・・
お買い上げの販売店または JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料で修理いたします。

持込修理
この製品は持込修理とさせていただきます。

修理料金の仕組み (有料修理の場合は下記の料金が必要です。)

技術料 : 製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれます。
部品代 : 修理に使用した部品代です。その他修理に付帯する部材などを含む場合があります。
送料 : 郵便、宅配便などの料金です。保証期間内に無償修理などをおこなうにあたって、お客様に負担していただく場合があります。

定期点検(有償)について
本機の製品性能を維持するため、年に一度の定期点検 (有償) をおすすめします。

製品に関するお問い合わせは
製品および製品の取り扱いに関するお問い合わせは、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。

JVCケンウッド カスタマーサポートセンター

固定電話からは、フリーダイヤル 0120-2727-87
携帯電話・PHS からは、ナビダイヤル 0570-010-114
一部の IP 電話など、フリーダイヤル、ナビダイヤルがご利用になれない場合は 045-450-8950
FAX を送信される場合は 045-450-2308
住所 〒 221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12
受付日 月曜日～土曜日 (祝祭日および、弊社休日を除く)
受付時間 月～金曜日 9: 30 ～ 18: 00
土曜日 9: 30 ～ 12: 00、13: 00 ～ 17: 30

株式会社 JVCケンウッド
〒 221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12

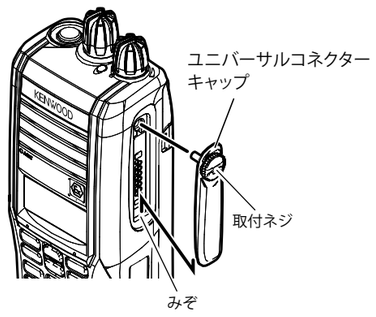
Radio Communication Solutions
株式会社ジャパンエニックス
JAPAN ENIX CO.,LTD.
□ 本 社 東京都品川区南品川 2-7-18 TEL 03-5715-2351
□ 関 西 支 店 大阪市西区千代崎 1-24-11 TEL 06-6583-7700
□ 札 幌 営 業 所 □ 名古屋営業所
□ 仙 台 営 業 所 □ 九 州 営 業 所
https://www.jenix.co.jp/ 営業所住所はこちら▶

ご使用の前に(つづき)

ユニバーサルコネクターキャップ取り付け

ユニバーサルコネクターに別売品のスピーカーマイクロホンを接続しない場合は、ユニバーサルコネクターキャップを取り付けます。
キャップのガイドをユニバーサルコネクターのみぞに挿入し、キャップに付いている取付ネジを締めてキャップを固定します。

- 取付ネジは手で回せますが、無線機本体の防水 / 防じん性能を維持するために、締め付け、取り外しの際はコイン等を使用してください。



- キャップを外したときはなくさないように保管してください。

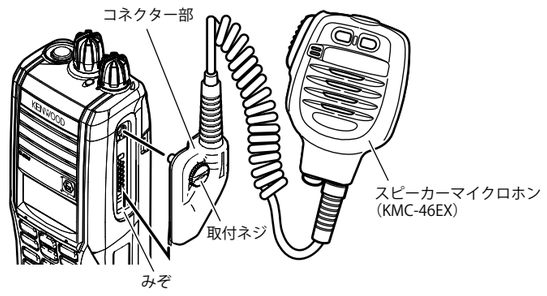
スピーカーマイクロホンの接続 (別売品)

スピーカーマイクロホン (KMC-46EX) を接続します。

1 **無線機の電源をOFFします。**
無線機の【電源 / 音量】ツマミを「カチッ」という音がするまで左(反時計方向)に回します。

2 **無線機のみぞにコネクター部のガイドを差し込み、取付ネジでしっかり固定します。**

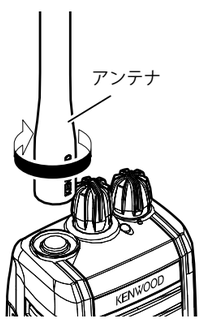
- 取付ネジは手で回せますが、無線機本体の防水 / 防じん性能を維持するために、締め付け、取り外しの際はコイン等を使用してください。



◆ 必ず無線機の電源を OFF した状態で接続してください。
◆ 使用前に、オプション機器の取扱説明書をお読みください。
◆ オプション一覧に記載している専用品を接続してください。
◆ コネクター部を取り外すときは、プラグ部をしっかり持って取り外してください。ケーブルを持って取り外すと、故障の原因になります。

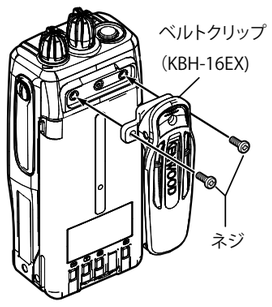
アンテナの取り付け (別売品)

アンテナの根元を持ち、本体上面のコネクターに差し込み、右 (時計方向) に固定されるまで回して確実に取り付けます。

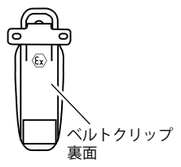


ベルトクリップの取り付け

無線機本体のネジ穴とベルトクリップを合わせて、取り付けます。ネジは必ずベルトクリップに付属のネジとプラスドライバーを使用し、ネジが緩まないようにしっかり取り付けてください。



本機に付属するベルトクリップ (KBH-16EX) は本質安全防爆構造に適合しています。
本質安全防爆構造に適合している場合、ベルトクリップ裏面に、Ⓔx の刻印が入っています。



◆ ベルトクリップに付属のネジ以外は使用しないでください。
◆ ネジの緩みがないか時々確認してください。

オプション一覧

本機用として下記のオプションが用意されています。

- KNB-70LEX ..... リチウムイオンバッテリーパック (1,430 mAh)
- KNB-77LEX ..... リチウムイオンバッテリーパック (2,860 mAh)
- KSC-32..... 急速充電器
- KMC-46EX..... スピーカーマイクロホン
- KCT-69EX ..... ヒューズボックス
- KLH-199EX..... レザーショルダーベルト
- KLH-204EX..... レザーケース (KNB-77LEX 取り付け時用)
- KLH-188EX..... レザーケース (KNB-70LEX 取り付け時用)
- KBH-16EX..... ベルトクリップ (無線機付属品と同じ)
- KRA-22A/B..... VHF ヘリカルショートアンテナ
- KRA-23A/23 ..... UHF ヘリカルショートアンテナ
- KRA-26A/B..... VHF ヘリカルアンテナ
- KRA-27A/B..... UHF ホイップアンテナ
- KRA-43G..... VHF ヘリカルアンテナ (GPS アンテナ付き)
- KRA-44G..... UHF ヘリカルアンテナ (GPS アンテナ付き)

◆ 本機に使用できるオプションが追加されたり、生産が終了することがあります。オプションについてはカタログなどをご覧ください。

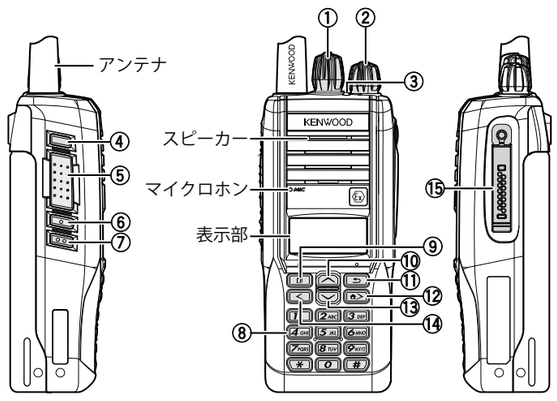
仕様

用途	一般業務無線機		簡易無線機
機種名	NX-230EX/ NX-330EX		
型式名	NX-230EXFT	NX-330EXFT	NX-330EXCT
周波数範囲	142 ～ 162.0375 MHz	400 ～ 470 MHz	467 ～ 467.4 MHz
変調方式	4 値 FSK (デジタル) FM (アナログ)		4 値 FSK
電波型式	F1D/ FiE (デジタル) F3E/ F2D (アナログ)		F1D/ F1E
送信出力	1.2 W		
使用電源	専用リチウム電池 (DC7.4 V)		
内蔵スピーカー出力	500 mW (10%歪み)		
使用温度範囲	-20℃ ～ +50℃		
外形寸法 (突起物含まず)	幅: 58 x 高さ: 139 x 奥行: 39.8 mm (KNB-70LEX 使用時) 幅: 58 x 高さ: 139 x 奥行: 48.2 mm (KNB-77LEX 使用時)		
外形寸法 (突起物含む)	幅: 61.6 x 高さ: 156.9 x 奥行: 44.85 mm (KNB-70LEX 使用時) 幅: 61.6 x 高さ: 156.9 x 奥行: 52.9 mm (KNB-77LEX 使用時)		
質量	約 505 g (KNB-70LEX 含む) 約 590 g (KNB-77LEX 含む)		
アンテナ端子	SMA-P		
防じん・防水性能	IP65/ 67		

※仕様は予告なく変更することがあります。
※ NX-330EXCT は種別コード 3B の無線機です。

各部の名称と機能

操作キー/ ツマミ



① チャンネル切り替えツマミ
回転させるとチャンネル番号が切り替わります。

②【電源/ 音量】ツマミ
電源の ON/ OFF、および音量調節をします。

③ 送受信LED
送信時は赤色に点灯します。受信時は緑色に点灯します。

④【AUX】キー
出荷時は機能が設定されていません。

⑤【PTT】スイッチ
押すと送信します。押したままマイクロホンに向かって話します。

⑥【サイド1】キー
押すとスケルチ解除の動作をします。(NX-230EXFT/ NX-330EXFT の場合)
押すとモニター動作をします。(NX-330EXCT の場合)

⑦【サイド2】キー
押すとバックライトが動作します。

⑧ キーパッド
チャンネル番号や音声通信時の ID 番号などが直接入力できます。

⑨【▢】キー
押すとメニューモードに入ります。

⑩【へ】キー
押すとチャンネル番号がアップします。
長く押すとチャンネル番号が連続でアップします。

⑪【⮌】キー
出荷時は機能が設定されていません。

⑫【⌂>】キー
押すとゾーン番号がアップします。
長く押すとゾーン番号が連続でアップします。
(NX-230EXFT/ NX-330EXFT の場合)
出荷時は機能が設定されていません。(NX-330EXCT の場合)

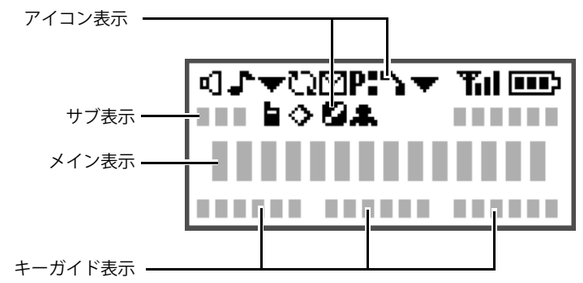
⑬【﹀】キー
押すとチャンネル番号がダウンします。
長く押すとチャンネル番号が連続でダウンします。

⑭【<】キー
押すとゾーン番号がダウンします。
長く押すとゾーン番号が連続でダウンします。
(NX-230EXFT/ NX-330EXFT の場合)
出荷時は機能が設定されていません。(NX-330EXCT の場合)

⑮ ユニバーサルコネクター
別売品のスピーカーマイクロホンを接続します。
使用しないときは、キャップを取り付けてください。

◆ 各キーの動作機能は出荷時の設定です。販売店でのオプション設定により、動作機能は変更できます。

表示部 (簡易無線機での運用モードでの表示)



表示エリア	説明
アイコン表示	設定された機能の動作をアイコンで表示します。
メイン表示	チャンネル番号やメッセージなどを表示します。
サブ表示	チャンネル番号などを表示します。
キーガイド表示	【▢】【へ】【⮌】キーを押すと起動する機能を表示部の下側に表示します。 ※表示されるキーガイドは無線機の状態で異なります。

機能アイコン一覧

アイコン	説明
	受信している電波の強さを表示します。 : 強 : 中 : 弱 : 微弱 表示なし : キャリア無し
	バッテリー容量の残量を表示します。 : 高 : 中 : 低 : 早めに充電してください
	スキャン中に点灯します。 スキャンが一時停止中は点滅します。
(左)	選択しているゾーンがスキャンの対象であると点灯します。
(右)	選択しているチャンネルがスキャンの対象であると点灯します。
	メッセージの受信履歴 (スタックデータ) を表示します。 点灯 : 受信履歴に既読のメッセージがあります。 点滅 : 受信履歴に未読のメッセージがあります。
	: 優先チャンネル 1 が設定されているときに点灯します。 : 優先チャンネル 2 が設定されているときに点灯します。 : 優先チャンネル 1 と 2 が同時に設定されているときに点灯します。
	デジタルモードで秘話機能が ON のときに点灯します。 暗号化された信号を受信すると点滅します。
	モニター機能が ON のときに表示します。
	サイレントアラーム機能が設定されているときに表示します。
	サイレントアラーム機能が設定されているときに着信があると点滅します。
	選択呼び出しが一致しているときに点滅します。
	無操作時間検知機能 (ローンワーカー) が ON のときに表示します。
	非常検知機能 (エマージェンシー検知) が ON のときに表示します。

◆ 各アイコンは、販売店で機能が設定されている場合に表示されます。

基本操作

通話する

◆ 通信は免許状に記載された無線局の目的、通信の相手方、通信事項の範囲を超えないでください (非常通信など電波法で定める場合を除く)。

1 **【電源/ 音量】を右(時計方向)に回して電源をONする**
「ピーッ」と鳴って電源が ON します。

2 **【⌂>】/【<】を押してゾーンを合わせる**

3 **チャンネル切り替えツマミを回すか、【へ】/【﹀】を押してチャンネルを合わせる**
通話する相手局と同じチャンネルに合わせます。

相手局の電波を受信すると、送受信 LED が緑色に点灯し、スピーカーから受信音が聞こえます。

4 **【電源/ 音量】を回す**
右 (時計方向) に回すと音量が大きく、左 (反時計方向) に回すと音量が小さくなります。

5 **【PTT】を押す**
送信状態になり、送受信 LED が赤色に点灯します。

- 他に送信している無線局がないことを確認してから送信してください (送受信 LED の緑色が消灯していること)。

6 **マイクロホンに向かって話す**
【PTT】を押し続けながら話します。マイクロホンは口元から 3 ～ 4cm 程度離してください。【PTT】を離すと待受状態に戻ります。

◆ 大きな声で話したり、マイクロホンとの距離が近すぎると、明瞭度が低下する場合があります。

7 **相手の音声を受信する**
【PTT】を離すと待受状態になります。待受状態で相手が送信すると相手の音声が聞こえます。

8 **通話をつづける**
送信と、受信は交互におこないます。
相手の通話が終わってから、【PTT】を押して送信してください。

9 **【電源/ 音量】を左(反時計方向)に回して電源をOFFします**
使用後は、【電源/ 音量】を「カチッ」という音がするまで左 (反時計方向) に回し、電源を OFF してください。

エマージェンシー (緊急送信) 機能について

緊急に連絡が必要な場合に、エマージェンシーモードに入り指定局へ自動的に緊急信号の送受信をおこなう機能です。
緊急信号を受信するとビープ音と表示で緊急事態発生を知らせます。

エマージェンシーモードに入るには

- エマージェンシー機能を設定した PF キーを押す。
- メニューモードで、エマージェンシー検知機能を ON にして、無線機の傾斜状態が一定時間継続し、「転倒検知」が起動する。
- メニューモードで、エマージェンシー検知機能を ON にして、無線機の静止状態が一定時間継続し、「静止検知」が起動する。
- メニューモードで、エマージェンシー検知機能を ON にして、無線機のはげしい動き (振動状態) が一定時間継続し、「動き検知」が起動する。
- メニューモードで、ローンワーカー機能を ON にして、無線機の無操作状態が一定時間継続する。

エマージェンシーモードから出るには

もう一度エマージェンシー機能を設定した PF キーを押すか、無線機の電源を OFF にするとエマージェンシーモードは終了します。

◆ エマージェンシー検知機能の「転倒検知」、「静止検知」、「動き検知」が起動してエマージェンシーモードに入った場合は、無線機の電源を OFF にしないとエマージェンシーモードは終了しません。

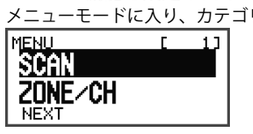
◆ 機能の設定内容や機能の詳細については販売店にお問い合わせください。

メニューモード

各種機能をメニュー形式で実行/設定するモードです。

メニューから機能を動作させる

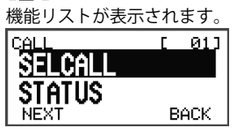
1 **メニュー機能を設定したキーを押す**
メニューモードに入り、カテゴリーリストが表示されます。



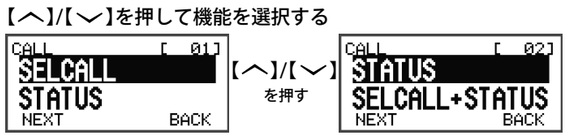
◆ 機能は、販売店で最大 8 個のカテゴリーに最大 64 個まで設定でき、設定されている機能について実行 / 設定することができます。
◆ カテゴリーが 1 つしか設定されていない場合は、メニューモードではカテゴリーリストは表示されず、手順 3 の機能リストが表示されます。

2 **【へ】/【﹀】を押してカテゴリーを選択する**

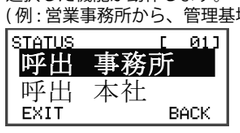
3 **【▢】を押す**
機能リストが表示されます。



4 **【へ】/【﹀】を押して機能を選択する**



5 **【▢】を押す**
選択した機能が動作します。
(例 : 営業事務所から、管理基地局宛にメッセージを送信する)



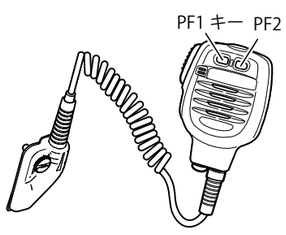
6 **【⮌】を押す**
前の画面表示に戻ります。

【⌂>】を押す
チャンネル表示に戻ります。

◆ 販売店でのオプション設定により、機能の設定内容は変更できます。

PF キーモード

本機の操作キーは、販売店でのオプション設定で機能を設定することで、PF(プログラムファンクション) キーとしてワンタッチで機能を実行することができます。
スピーカーマイクロホン (KMC-46EX) にも機能設定できる PF キーを搭載しています。



◆ 機能の設定内容や機能の詳細については販売店にお問い合わせください。

メニューモードから選択可能な機能の一覧

機能表示	機能名称	説明
ACTIVITY DTCT	エマージェンシー検知	ユーザーの非常状態を自動で検出する非常検知機能を ON/ OFF
AUTO DIAL	オートダイヤル	オートダイヤルモードを起動 (NX-230EXFT/ NX-330EXFT のみ使用可能)
DIRECT CH1 SEL	DR1 選択	ダイレクトチャンネル 1 に 設定
DIRECT CH2 SEL	DR2 選択	ダイレクトチャンネル 2 に 設定
DIRECT CH3 SEL	DR3 選択	ダイレクトチャンネル 3 に 設定
DIRECT CH4 SEL	DR4 選択	ダイレクトチャンネル 4 に 設定
DIRECT CH5 SEL	DR5 選択	ダイレクトチャンネル 5 に 設定
DISP FORMAT	表示形式	待ち受け表示形式設定モードを起動
EXT MIC TYPE	外部マイクタイプ	外部マイクのオーディオ特性設定モードを起動
FIXED VOLUME	固定音量	固定音量設定モードを起動
GPS POS DISP	無線機位置表示	無線機の位置表示モードを起動 (無線機の内蔵 GPS が有効になっているときに設定できます)
GROUP	グループ呼出	グループ呼出モードを起動 (デジタルモードのみ)
GROUP+SDM	グループ呼出 + メッセージ	グループ呼出 + ショートメッセージモードを起動 (デジタルモードのみ)
GROUP+STATUS	グループ呼出 + ステータス	グループ呼出 + ステータスモードを起動 (デジタルモードのみ)
HOME CH SEL	ホーム CH 選択	ホームチャンネルに選択 (NX-230EXFT/ NX-330EXFT のみ使用可能)
INDIVIDUAL	個別呼出	個別呼出モードを起動 (デジタルモードのみ)
INDIV+SDM	個別呼出 + メッセージ	個別呼出 + ショートメッセージモードを起動 (デジタルモードのみ)
INDIV+STATUS	個別呼出 + ステータス	個別呼出 + ステータスモードを起動 (デジタルモードのみ)
LONE WORKER	ローンワーカー	無線機の無操作時間から非常状態を検出するローンワーカー機能を ON/ OFF
MAINTENANCE	メンテナンス	信号強度を表示部で確認するメンテナンスディスプレイモードを起動
MONITOR	モニター	モニター機能を ON/ OFF
PRI CH SEL	プライオリティ選択	優先チャンネルに設定
RX AUDIO EQ	受信オーディオイコライザー	受信音のオーディオ特性調整モードを起動 (デジタルモードで有効です)
RX AGC	自動音量制御	受信音の自動制御モードを起動 (デジタルモードで有効です)
RX LOW CUT	受信時の低周波成分除去	受信時の低周波成分を除去 (デジタルモードで有効です)
SCAN	スキャン	スキャン機能を ON/ OFF
SCAN DEL/ADD	スキャン対象	スキャン対象 (チャンネル) 設定モードを起動
SCRAM/ENCRYP	秘話	秘話機能を ON/ OFF
SCRAM CODE	秘話番号 / 秘話鍵リスト番号	秘話鍵リスト番号設定モードを起動
SHORT MESSAGE	ショートメッセージ	ショートメッセージモードを起動
SELCALL	セレコール (FleetSync)	FleetSync ID を使用した、個別呼出モードを起動 (NX-230EXFT/ NX-330EXFT のみ使用可能)
SELCALL+STATUS	セレコール + ステータス (FleetSync)	FleetSync ID を使用した、個別呼出モード + ステータスモードを起動 (NX-230EXFT/ NX-330EXFT のみ使用可能)
SEND GPS DATA	GPS データ送信	GPS データを送信
SILENT ALARM	サイレントアラーム	サイレントアラームモードを起動
SQUELCH LEVEL	スケルチレベル	スケルチレベル設定モードを起動 (NX-230EXFT/ NX-330EXFT のみ使用可能)
SQUELCH OFF	スケルチ解除	スケルチ解除機能を ON/ OFF (NX-230EXFT/ NX-330EXFT のみ使用可能)
STACK	受信履歴	受信履歴機能を起動
STATUS	ステータス	ステータスモードを起動
PASSWORD	無線機パスワード	パスワード設定モードを起動 ※パスワード設定モードに入ると、パスワードを解除しない限り、無線機の機能を使用することができません。ご注意ください。
TX AUDIO EQ	送信オーディオイコライザー	送信音のオーディオ特性調整モードを起動 (デジタルモードで有効です)
TX AGC	自動マイクゲイン制御	自動マイクゲイン制御モードを起動 (デジタルモードで有効です)
TX NOISE SUPPR	送信時ノイズ除去	外部スピーカーマイクオーディオ特性設定モードを起動 (デジタルモードで有効です)
ZONE DEL/ADD	スキャン対象ゾーン選択	スキャン対象 (ゾーン) 設定モードを起動 (NX-230EXFT/ NX-330EXFT のみ使用可能)

© 2020 JVCKENWOOD Corporation